



野鳥 カケス

山地の森林に生息する。繁殖期は縄張りを形成する。近くでじっくり見ることは難しいが、飛翔時に目立つ腰の白色部は遠目にも目立つ。食性は雑食で昆虫類が主食だが果実、種子等も食べる。

とうめい news

2023.2.1 Vol.258

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

TOPICS

胃がん・大腸がんは怖くない!—正しい検診豆知識— 消化器科:田中 彰

日本では生涯で2人に1人は「がん」になります(男性66%、女性51% 国立がん研究センター2019年)。自分は大丈夫と思いたいところですが、意外と身近な病気なのです。医療技術の進歩によって「がんは治る病気」になってきましたが、完治のためには早期発見が大切です。そこで重要となるのが「がん検診」です。国が推奨するがん検診は、胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がんの5種類です。このうち、消化器科で扱う胃がんと大腸がんの検診について解説します。

胃がん検診として推奨できる検診方法は「胃X線検診(バリウム検診)」と、2016年に追加された「胃内視鏡検診(胃カメラ検診)」の二つです。どちらも、胃がんの死亡率を約3~5割も減少させることが科学的に証明されています。全国で一年間に、胃X線検診は167万人、胃内視鏡検診は41万人の方が受診します。胃がん検診受診者の7%に何らかの異常が疑われ、「要精密検査(要精検)」となります。

胃X線検診で異常が疑われると改めて胃内視鏡検査を受ける必要がありますが、残念ながら2割もの人が放置してしまうことが報告されています。

一方、胃内視鏡検査には、その場で生検(胃粘膜組織の一部を取り顕微鏡で調べる検査)まで済ませることができるというメリットがあります。当院では経鼻内視鏡や、鎮静剤で眠りながらの検査も用意があります。どうしても内視鏡の苦手な方は、ご相談下さい。

胃がんのほとんどはピロリ菌が原因です。強酸性の胃の中で生育する驚くべき術を獲得した細菌が幼少期に胃に感染し、胃炎や潰瘍を繰り返しながら胃粘膜を萎縮させ、やがて胃がんを引き起こします。

新しい「胃がんリスク検診(ABC検診)」は、わずかな採血で胃粘膜の萎縮度(血清ペプシノゲン値)とピロリ菌感染の有無(血清ピロリ抗体)を測定して、胃がんリスクを予測する検診です。「血液で胃がんが分かる検査」と誤解する方がいますが、あくまでも胃がんのなりやすさを調べる検査であって、胃がんの有無を調べるものではありません。胃がん検診としての評価は定まっていないので、これまで胃X線検診や胃内視鏡検診を受診してきた方にとってその代用となるものではありません。

さらに、ピロリ菌の除菌治療を受けた方にも意義は低いと思われます。胃がんリスク検診は、どうしても胃X線検診や胃内視鏡検診を受けたくない方に、その必要性を判断し、ピロリ菌の除菌・胃がん予防へとつなげる役割が期待されています。

大腸がんは欧米人の病気と思われがちですが、今や、日本は世界で最も大腸がんの多い国の一つです。40歳を過ぎると急激に罹患しやすくなり、運動不足、喫煙、過度の飲酒、肉食、肥満、遺伝などの様々な要因が関係します。

大腸がん検診として便潜血検査が行われます。二日分の便を提出して一度でも血液が検出されれば陽性(要精検)と判定され、大腸内視鏡検査を受ける必要があります。時々、「もう一回便潜血を調べて欲しい、今度は陰性かも知れないから。」という方がいますが、ダメです。大腸内視鏡検査で異常のないことを確認するまで安心できません。全国で一年間に840万人が大腸がん検診を受診し、7%が要精検と判定されます。そして、大腸内視鏡検査では4~5人に1人にポリープ(腺腫)や大腸がんが見つかりますので、病気の見つかることは珍しくありません。

「ポリープ」とは、消化管粘膜が変化し丸く隆起したものの総称です。一般に良性ですが、胃ポリープと大腸ポリープでは意味合いが異なります。

胃ポリープのほとんどは胃がんになりません。胃ポリープは、胃酸の分泌を抑える胃薬を服用していると増えたり(胃底腺ポリープ)、ピロリ菌の除菌によって消えたりします(過形成ポリープ)。

一方、大腸ポリープの多くは「腺腫」と呼ばれる大腸がんの「芽」です。放置すると3年で約5%が早期がんへと進行します。腺腫の段階で治療すれば、大腸がんの発生を予防し死亡率を低下させることが分かっています。当院では原則として、腺腫が見つかった場合に短期入院で内視鏡的切除を行います。

胃がんと大腸がんの検診について解説しました。がんに怯えることなく健康に暮らしていけるよう、ぜひ積極的にがん検診を受診して下さい。

